

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成24事業年度の業務実績に関する評価結果

平成25年7月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会

目 次

I	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの年度評価の考え方	・・・	1
II	全体評価	・・・	2
III	項目別評価	・・・	4
1	住民に対して提供するその他の業務の質の向上に関する目標を達成 するためとるべき措置	・・・	4
	評価結果と判断理由	・・・	4
2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき 措置	・・・	5
	評価結果と判断理由	・・・	5
3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	・・・	6
	評価結果と判断理由	・・・	6
4	その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置	・・・	7
	評価結果と判断理由	・・・	7

I 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの年度評価の考え方

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会では、平成22年10月1日に新設型の地方独立行政法人として設立された地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター（以下「法人」という。）について、平成23年2月9日に策定した「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績に関する評価の方法」に基づき以下のとおり評価を実施した。

【評価の基本方針】

業務の実績に関する評価は、地方独立行政法人法(以下「法」という。)第28条の規定による「各事業年度に係る業務の実績に関する評価」とし、中期目標及び中期計画に基づき作成された年度計画を踏まえ、当該事業年度における業務の実績の全体について、総合的な評価を実施した。

【各事業年度に係る業務の実績に関する評価の方法】

各事業年度に係る業務の実績に関する評価は、法第26条第2項に係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて実施した。

(1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、5・4・3・2・1の5段階による評価を実施した。

(2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、S・A・B・C・Dの5段階による評価及び記述式による評価を実施した。

(3) 評価等の手順

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務運営等に関する規則第6条の規定により、平成25年6月12日に地方独立行政法人からの項目別評価に準じた自己評価入りの年度業務実績報告書及び関係資料の提出を受け、法人の理事、職員等に対する聞き取りなどを行い評価を実施した。

II 全体評価

(1) 評価結果と判断理由

全体評価結果：B

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター（以下「法人」という。）は、平成22年10月1日に設立され、平成22年度から平成25年度までを中期目標・中期計画の期間として事業を推進し、平成26年4月1日の開院を目指している。

平成22年度から平成25年度までの中期目標・中期計画の期間は、病院開院に向けた準備期間にあたることから、病院建設に係る設計、建設事業を行うとともに、医師・看護師等の人材の確保を図り、病院運営の仕組みを構築し、併せてこれらを推進するための資金の確保・調達をしていかなければならない重要な期間にあたる。

平成24年度は、前年度に引き続き法人職員を増員し業務執行体制の充実強化を図った。

医師確保については、外科の特任教授が就任し、医療機器の選定及び情報システム、各委託業務における業者選定等を行い、平成26年4月の開院に向け準備を進めた。また、千葉大学医学部において平成25年度採用を予定する特任教授及び特任准教授の公募と選任が行われた。

看護師確保については市・町の広報、ホームページ、新聞折込等による採用募集に加え、商業施設を利用した就職説明会を開催し募集活動を行った。また、看護学生への奨学金支給を行い、概ね予定通りの人材を確保した。

建設工事については、不調を受けた再入札の結果、契約金額8,179,500千円で平成24年4月27日に(株)大林組と契約を締結し、工事に着手した。

工事の施工については、平成25年3月の出来形23.16%に対する部分払額1,704,654千円の支払いを行うなど、予定どおり進捗した。

以上の業務実績を含めた、項目別評価については、年度計画の23項目中、全ての項目で「3：年度計画を予定どおりに実施している」と判定したため、全体評価については「B：概ね計画どおりに進んでいると認められる」とした。

なお、全体評価を行うにあたり特に以下の大項目ごとの特記事項について評価した。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・平成24年3月の入札不調を受け、平成24年4月26日に9者による指名競争入札を実施し、株式会社大林組千葉営業所が8,179,500千円で落札し、翌27日に同額にて建設工事請負契約を締結した。準備工事を経て7月より、造成、病院本棟地下及びエネルギー・防災倉庫棟の工事に着手した。
- ・基本設計及び実施設計を実施した設計者に工事監理業務を委託した。同者

を中心に工程管理、出来高管理、施工図や工事内容の品質管理を行った。また毎週工事現場事務所にて工事請負者、監理者及び発注者による定例会を開催し進捗状況報告、発注内容の確認を実施し品質管理を徹底した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・公募型プロポーザルにより、ネットワークシステム構築、電子カルテ等情報システム導入及び人事給与システム導入についての業者選定を行い、第一交渉権者を選定した。
- ・公募型プロポーザルにより、物流・リネン・医事・売店・保育所の各業務委託についての業者選定を行い、第一交渉権者を選定した。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・コメディカル職員の給与制度を整えるため、給与規程等の整備を行った。
- ・建設工事費用、医療機器整備費用の増加及び看護師等の前倒し採用により中期計画予算対比で9億円の予算増加となったため、シミュレーションの見直しを行った。その結果、開院後の経常損益累計額の黒字への転換が1年先送りになる結果となったが、全体としては大きな変動は無かった。今後も必要に応じてシミュレーションの見直しを行うこととする。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置、予算

・収支計画・資金計画等

- ・東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、建設工事及び工事監理業務委託を行い、平成25年3月出来形に基づく部分払いを行った。

第5 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画

- ・法第34条の規定により財務諸表等は別に評価した。

第6 短期借入金の限度額から第9料金に関する事項まで

- ・該当事項が無いため評価しない。

第10 その他業務運営に関する重要事項(平成24年度)

- ・施設及び設備に関する計画については、「第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で評価したとおり。
- ・積立金の処分に関する計画については、該当がないため評価しない。

(2) 評価にあたっての意見、指摘事項等

- ・認定看護師資格取得支援を5分野から7分野に拡大できたことは評価できる。
- ・組織計画において看護部長を副センター長とする組織配置に賛同し、期待する。
- ・開院後の経常損益の計画については、計画に変更があることは予想されることであり、常に見直しを行い、適時、適切な対応をする必要がある。

Ⅲ 項目別評価

1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：3

1 2項目中、全て年度計画を予定どおりに実施していることから評価結果を「3」とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①メディカルセンターの医療機能

前年度に引き続き、組織体制の強化、関係諸規程の追加整備及び見直し等を図り、地域の中核病院としての医療機能及び4疾病、4事業に対応した医療機能を確保するための人員体制等を整えたこと、また、千葉大学医学部・同附属病院と連携し、4疾病4事業にも対応可能な医療機能を有する設備、体制を整えたことについて評価した。

②メディカルセンターの施設整備

9者による指名競争入札を実施し、建設工事請負契約を締結し、仮囲設置等の準備工事を経て7月より、造成工事、病院本棟地下工事及びエネルギー・防災倉庫棟の工事に着手したこと、建築基準法第6条の規定に基づく建築確認済証交付を受け、建築基準関係規定に適合した工事を実施するとともに、設計見直しによる変更確認申請の手続きを行ったこと、工事用防護柵等を設置するとともに、工事車両入口には交通誘導員を配置するなど安全に配慮した工事を行ったこと、基本設計及び実施設計を実施した設計者に工事監理業務を委託し、同者を中心に工程管理、出来高管理、施工図や工事内容の品質管理を行ったことなどについて評価した。

③メディカルセンターの設備整備

工程上、設備工事の本格着手には至っていないが、ガス設備、危険物取扱設備、電気設備等について、許可権者等の関係機関と協議を行い設計内容や工事内容の確認を行い、工事請負者が中心となり安全に配慮した設備整備の工事計画を検討し実施したこと、基本設計及び実施設計を実施した設計者に工事監理業務を委託し、同者を中心に工程管理、出来高管理、施工図や工事内容の品質管理を行ったこと、主要な放射線関連医療機器の整備計画の見直しを図り、年次整備計画の基礎資料を作成したことについて評価した。

④メディカルセンターの人材確保

医師に関しては医師派遣システム導入のため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進めたこと、看護師に関しては、看護部長以下、副看護部長、看護師長の就任により募集体

制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施したこと、看護学生に対する法人及び設立団体の奨学金制度により奨学金を給付し平成25年4月以降の採用を見込んだこと、認定看護師資格取得支援として対象の認定分野を5分野から7分野へ拡大し5人分を公募し、平成24年度内では2人を採用したこと、千葉大学、千葉県立保健医療大学、城西国際大学とは、訪問、説明会及び看護師研修の施設利用等を通じて人材確保の基盤を構築したこと、看護師に関しては、千葉大学医学部附属病院での教育研修の開始、及び千葉県立病院での教育研修について制度を整えたことについて評価した。

⑤医師会や地域の医療機関との連携

千葉県、千葉大学医学部附属病院、医師会、設立団体等による地域連携等についての協議を行う体制作りを進めたことについて評価した。

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①メディカルセンターの医療機能	1			1		
②メディカルセンターの施設整備	4			4		
③メディカルセンターの設備整備	4			4		
④メディカルセンターの人材確保	2			2		
⑤医師会や地域の医療機関等との連携	1			1		
合計	12			12		

2「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：3

3項目中、全て年度計画を予定どおりに実施していることから評価結果を「3」

とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①効率的で財政上も健全な運営方法の確立

公募型プロポーザルにより、ネットワークシステム構築及び電子カルテ等情報システム導入についての業者選定を行い、第一交渉権者を選定したこと、公募型プロポーザルにより、物流・リネン・医事・売店・保育所の各業務委託についての業者選定を行い、第一交渉権者を選定したことについて評価した。

②魅力ある人事・給与制度の確立

コメディカル職員の給与制度を整えるため、給与規程等を整備したこと、退職金のポイント制度導入に向け、設計作業を進めたことについて評価した。

③会計制度の整備と運用

契約規程の一部改正及び固定資産貸付規程の制定を行ったこと、公募型プロポーザルにより人事給与システム導入業者についての第一交渉権者を選定したことについて評価した。

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①効率的で財政上も健全な運営方法の確立	1			1		
②魅力ある人事・給与制度の確立	1			1		
③会計制度の整備と運用	1			1		
合計	3			3		

3 「財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：3

5項目中、全て年度計画を予定どおりに実施していることから評価結果を「3」

とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①健全な経営基盤の確立

病院開設後必要となる組織計画を策定するため必要な検討等を行い、これに基づく職員採用計画を策定したこと、公募型プロポーザルにより、ネットワークシステム構築及び電子カルテ等情報システム導入についての業者選定を行い、第一交渉権者を選定したことについて評価した。

②支出の適正化

工事請負者及び監理者とともに追加工事の検討に併せ、建設費抑制のための工事内容の検証を行い、設計変更に向けた準備を行ったこと、コメディカル職員の給与制度を整えるため、給与規程等を整備したこと、退職金のポイント制度導入に向け、設計作業を進めたこと（再掲）、建設工事費用、医療機器整備費用の増加及び看護師等の前倒し採用により中期計画予算対比で9億円の予算増加となったため、シミュレーションの見直しを行ったことについて評価した。

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①健全な経営基盤の確立	2			2		
②支出の適正化	3			3		
合計	5			5		

4 「その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：**3**

3項目中、全て「3：年度計画を予定どおりに実施している」ことから評価結果を「3」とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①実施スケジュールの確立

事務執行体制の充実強化を図るため、人員体制等を整えたこと（一部再掲）、東千葉メディカルセンター建設工事及び、工事監理業務を進めた

こと、医師に関しては医師派遣システム導入のため、千葉大学医学部・同附属病院と共同して、臨床教育センターの設置事務を進めたこと（再掲）、平成24年度採用看護師に関しては内定者も含め計画通り採用したこと、看護師に関しては、看護部長以下、副看護部長、看護師長の就任により募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施したこと（再掲）、看護学生に対する法人及び設立団体の奨学金制度により奨学金を給付し平成25年4月以降の採用を見込んだこと、認定看護師資格取得支援として対象の認定分野を5分野から7分野へ拡大し5人分を公募し、平成24年度内では2人を採用したこと（再掲）、看護師に関しては、千葉大学医学部附属病院での教育研修の開始、及び千葉県立病院での教育研修について制度を整えたこと（再掲）、臨床検査技師長、診療放射線技師長等のコメディカル職員及び事務職の募集を行い、次年度採用予定者を決定したことについて評価した。

②財政負担の原則

東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、工事監理業務委託及び建設工事を行い、平成25年3月出来形に基づく部分払いを行ったことについて評価した。

③地域に対する広報等

医療センターニュースの発行（3回）を行ったこと、市町広報誌へ建設進捗状況等関連記事掲載を行ったこと、ホームページを活用し広く情報提供を行ったこと（平成24年度末ホームページアクセス件数 約96,300件）について評価した。

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①実施スケジュールの確立	1			1		
②財政負担の原則	1			1		
③地域に対する広報等	1			1		
合計	3			3		